

(様式第2号)

平成23年度ながさき私学魅力アップ事業実績報告書

学校法人名 (団体名)	学校法人 玉木学園
学 校 名	長崎玉成高等学校
所 在 地	郵便850-0822 長崎市愛宕1丁目29-41
担当者氏名 及び連絡先	小形 まゆみ (095-826-6321)

1. 事業実績

① 3年間の目標 (数値目標も記載すること)

【1年目】 (1) 新カリキュラム初の介護福祉士国家試験の合格率 80%
地産地消の概念に基づき、地元介護系サービス事業者就職
希望者の内定率 100%

(2) 高齢者とのお買い物・散策ツアー一年 1回

(ご利用者参加目標 35名以上)

障害児とのふれあい学習年 4回

(参加目標数のべ 40名以上)

それぞれの活動の満足度調査、ニーズの把握をしっかりと
行い、サロン開設へのニーズ把握につなげる。

【2年目】 (1) 介護福祉士国家試験の合格率 80%定着
地産地消の概念に基づき、地元介護系サービス事業所へ
の就職希望者の内定率 100%

(2) 高齢者・障害者等サロンを年間 5回以上実施

(年間参加目標者のべ 40名以上)

参加者のニーズ把握と、満足度調査を行う。

【3年目】 (1) 介護福祉士国家試験の合格率 80%定着
地産地消の概念に基づき、地元介護系サービス事業所へ
の就職希望者の内定率 100%

(2) 高齢者サロン月 1階開催の定着

参加者の満足度 80%以上を目指す。

② 3年間の実績 (必ず数値目標の実績を記載すること)

(1) 【1年目】 第24回介護福祉士国家試験合格率

受験者 21名中合格者 21名 (合格率 100%)

今年度3年生の進路決定状況

卒業生21名 進学8名 就職内定13名 (内定率 100%)

- (2) ふれあい学習4回、介護老人福祉施設牧島荘の入所者・デイサービスご利用者とお買い物ツアーを1回実施。
ふれあい学習参加者合計44名、お買い物ツアー参加者36名

【2年目】

【3年目】

③当該年度の事業報告（具体的に記載すること）

(1) について

- ①平成22年度作成国家試験対策指導マニュアルを授業、補習等で活用
- ②平成24年1月20日（金）～21日（土）（有）いとう総研 伊東利洋先生の受験対策講座
- ③全ての教材（模擬試験・対策プリント等）は反復練習を行い、実施した問題数のべ10000以上
また個別支援として、保護者との連絡交換、生徒との個別面談を一人あたり7～8回実施した。
- ④平成24年2月22日（水）日本お手玉の会長崎支部 もってこい長崎レクリエーション協会お手玉の会の理事 中島るり子先生による「福祉現場で使えるお手玉づくりとレクリエーション」講座
- ⑤平成24年3月19日（月）「卒業生との交流会」実施

(2) について（時系列で記載）

- 平成23年5月 第1回ふれあい学習
平成23年8月20日（土）第2回ふれあい学習
平成23年10月8日（土）第3回ふれあい学習
平成23年10月4日（火）～5日（水）第38回老人と障害者自立のための国際福祉機器展の視察
※別紙報告書1・2参照
- 平成23年11月11日（金）介護老人福祉施設牧島荘ご利用者とお買い物・散策ツアー
平成23年11月19日（土）第4回ふれあい学習
平成23年11月25日（金）長崎市社会福祉協議会担当者と高齢者サロン立ち上げの打ち合わせ
平成23年12月9日（金）白木地区高齢者サロン視察
※別紙報告書3参照
- 平成23年12月16日（金）～17日（土）第21回全国産業教育フェア視察
※別紙報告書4参照
- 平成24年2月10日（金）鶴の尾地区高齢者サロン視察
※別紙報告書5参照
- 平成24年2月13日（月）社会福祉法人 愛知たいようの杜 ゴジカラ村視察
※別紙報告書6参照
- 平成24年2月14日（火）戸石地区高齢者サロン視察
※別紙報告書7参照

④今後の課題

(1) 国家試験の合格率は、本校福祉科史上最高値を出すことができた。

ただし、九州地区の福祉系高等学校も同様の状況であり、本校だけが抜き出していたわけではない。

よって、この合格率を今後いかにキープできるかが、今後の課題である。

ついで、地元介護サービス事業所への就職率であるが、長崎市内の介護事業所へ就職希望者全員の13名が決まった。

これからは「3年以内離職率0%」長崎玉成高等学校福祉科の大きな課題である。

そのために、今後もより質の高い、即戦力のある介護職員としての就職を支援していきたいと考える。

(2) 今年度予定どおりの障害児とのふれあい学習を4回実施しのべ44人の子どもとその保護者に参加していただいた。また、介護老人福祉施設牧島荘のご利用者36名とのお買物ツアーも無事に行うことが出来、今高齢者からも好評を得られた。実施が11月11日の介護の日であったことから、KTNテレビ長崎、NHK長崎放送局、長崎新聞社からの取材をして頂いた。

「介護の日」を地域社会へ啓発し「介護」や「福祉」を広めることも福祉に携わる私たちの務めであることから、今後もこのような継続した活動を、創意工夫を図りつつ実施していきたいと考える。また、これからは定期的な「高齢者サロン」の活動を継続し、地域貢献活動の礎を作っていきたい。

2. 事業実績の評価

①事業実績に対する学校評価（自己評価 ※数値標記も必ず行うこと）

協力体制の確立 3.2

関係機関や施設等との連携の充実 3.1

外部講師の招聘 3.3

②学校関係者評価委員会の構成

同窓会代表	大石 順子
地元公立中学校元校長	横山 碩男
育成会会長	福田 安秀
育成会副会長	前田 政茂
育成会副会長	石倉 晴子

③学校関係者評価委員会の評価

高齢者サロンの開設は、時代のニーズに伴い必要なことであり、これからは認知症サポーター養成講座等も含め、さまざまな取り組みが必要である。自治会はもとより、民生委員や地域包括支援センター等との連携も必要ではないかとの意見が出た。

また、介護福祉士合格率や就職・進学内定率 100%はよいことであるが、今後は、離職率をなるべく減らすことが必要であると助言があった。

評価 4：十分達成している。

④学校法人理事会報告日 平成 23 年 5 月 25 日

⑤学校法人評議員会報告日 平成 23 年 5 月 25 日